

福祉サービス第三者評価 放課後児童健全育成事業版報告書 基本情報

①第三者評価機関名

株式会社ウエルビー

②施設・事業所情報

| | |
|---|---------------------|
| 名称：清瀬市立八小児童クラブ | 代表者氏名：主任 香川優子 |
| 所在地：東京都清瀬市中清戸4-1070 | TEL：042-492-5535 |
| 利用者数：92名 | |
| 〔施設・事業所の概要〕 | |
| 開設年月日：昭和47年 | |
| 経営法人・設置主体（法人名等）：特定非営利活動法人子育てネットワーク・ピッコロ | |
| 職員数 | 常勤職員：6名 非常勤職員：3名 |
| 専門職員 | （専門職の名称） |
| | 放課後児童支援員：8名 |
| 施設・設備の概要 | （居室数） |
| | （設備等） |

③理念・基本方針

「理念」

- 「こども」「保護者」「支援員」みんなが主役である。
- 子どもの発達段階に応じた主体的な遊びを通じて自主性、社会性、創造性を伸ばすことができるように支援をしていく
- 子どもを中心に保護者と支援員がともに考え、共有しながら一緒に子育てする場を運営する。
- 子どもが健やかに成長していくこと、異年齢のこどもたちや障害を持った子どもたちも一緒に生活し、どの子ども大切にされる育成をめざす。

「基本方針」

- ★子どもが自分の思いを出せる場であること。みんなが自分をさげだしながら成長し合える場所であること。
- ★子ども同士で楽しく過ごせるように、サポートする。支援員は縁の下の力持ち子ども同士が主体性を持てるように手助けをする。
- ★各家庭の育児方針を受け止める。これが正解という育児はありません。各家庭の育児方法に耳を傾ける。
- ★事故を未然に防ぐために安全管理を徹底する。子どもも保護者も事故や怪我の心配をしなくても良い環境を整える。

④施設・事業所の特徴的な取組

- 宿題をする時間を設けている。 ●自主的なけん玉の活動 ●子どもの自主的な参画をうながす行事の運営(子どもに選択肢を与える)
- DVD、視覚教材の活用 ●外遊びを多く取り入れている。

⑤第三者評価の受審状況

| | |
|-------------------|--|
| 評価実施期間 2022年9月 | |
| 受審回数（前回の受審時期） | |

⑥総評

◇特に評価の高い点

●当クラブに対して行政からの指定管理を受けて2年目ですが、クラブの主任や職員の意欲や働き及び法人本部からの指導や対応によって、保護者へのアンケートでも運営に対して100%近くの「満足」との回答を得ており、非常に安定した運営が行われていることが伺われます。運営面でも職員との会議でもアンケート結果を受けて、その分析や対応についても話し合いを行ったり、学びの研修の結果を直ぐに運営に取り入れていくといった積極的な姿勢を持っており、今年度から法人から育成計画に取り組む方針を受けても計画化に向けて取り組んでおり、その取り組みを通じてより良い子どもの育成につながることを期待され

◇改善を求められる点

●指定管理の受託がコロナ禍の最中で、今年度になってコロナ禍予防制限の緩和が図られるようになったこともあり、地域との交流についてはこれからという段階です。しかし、隣にある併設されている学校とは通常の交わりは少ないようですが、特殊支援学級の先生と専門性を交えて話し合うことも行っており、災害対応でも話し合いたいと考えています。法人でも災害時や子どもの行き帰りの安全確保等を考えると、地域との連携が必要になってくると認識しており、併設されている学校だけでなく、周囲の児童クラブに対する認知を深めるためのアピールや繋がりを持つための機会の提供等も必要になってくるのではないかと考えられます。